

経営比較分析表（令和4年度決算）

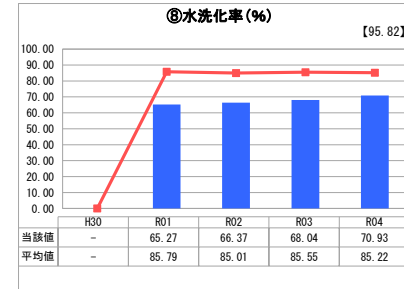
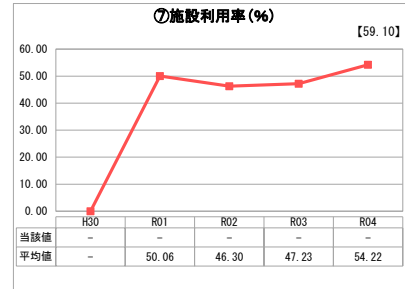
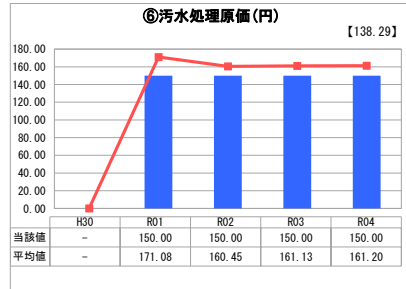
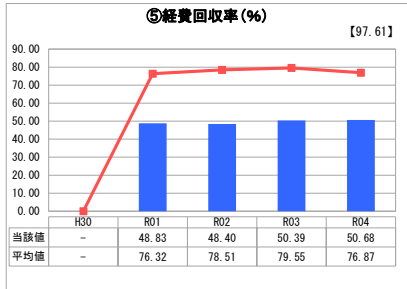
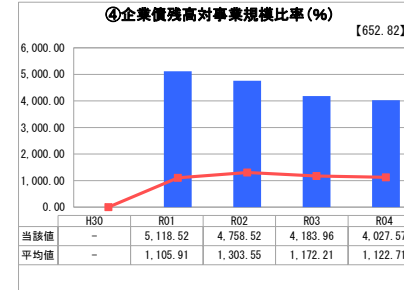
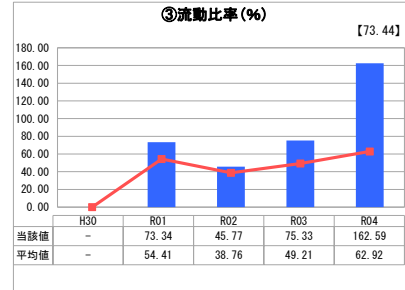
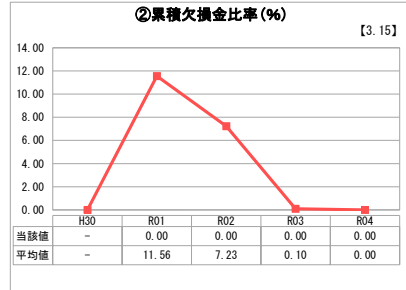
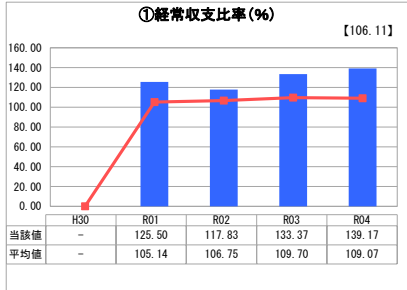
沖縄県 南城市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cb2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 64.77 | 26.91 | 100.00 | 1,453 |

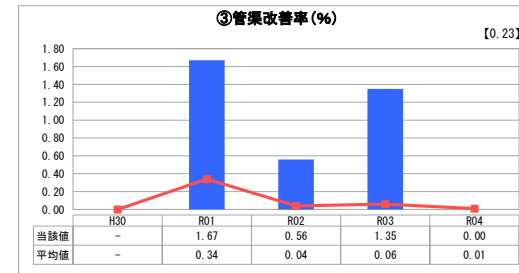
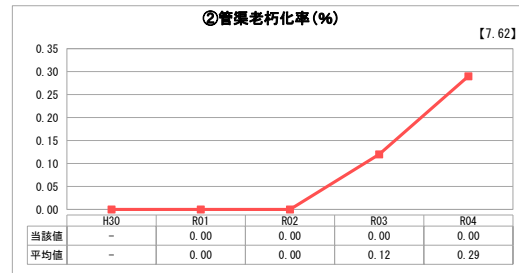
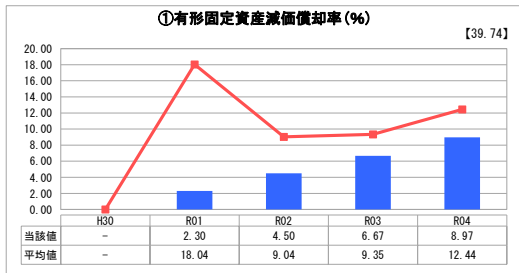
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 45,928 | 49.94 | 919.66 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 12,382 | 2.31 | 5,360.17 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和4年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市は、令和元年度より地方公営企業法の一部を適用し地方公営企業会計へ移行したため、平成30年度の値は0となっています。

①経営収支比率は、100%を超えているものの、⑤経費回収率が50.68%と低く、全国及び類似団体平均値を下回っています。これは、汚水処理に係る費用が下水道使用料等で賅えず、一般会計からの繰入金で補てんし、事業運営を行っていることによるものです。

③流動比率が100%を上回り、前年度より改善しました。

④企業債残高対事業規模比率は、全国及び類似団体の平均値を上回っており、施設改築整備に伴う公債費負担が高額なに対して、使用料金収入のみで補うことができず高い数値となっています。

⑥汚水処理原価は、全国平均値は上回っていますが、類似団体の平均値と比べ低い状況となっています。引き続き維持管理費の削減、接続率の向上に努めていきます。

⑧水洗化率は、全国及び類似団体の平均値を下回っているため、今後も接続推進員等による未接続世帯への訪問などを行い普及促進に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

現在、老朽化している地区においてストックマネジメント計画により管路改築工事を行っています。今後は、管きょや施設の適切な維持管理により長寿命化を図り、点検及び更新等を計画的に進めていきます。

全体総括

本市は、令和3年4月1日に料金改定を行いました。しかし公共下水道事業は、新規整備投資に係る経費の増大が懸念され、一般会計繰入金に依存しているため、非常に厳しい経営状況が続いています。公共下水道事業の計画的な整備促進及び水洗化率の向上を図るとともに、料金改定を含め経営の健全化・効率化を図って参ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。